

第548号 2024. 8/2

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会  
 東京都中央区築地3-12-5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321  
 URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324  
 発行人 笹岡 健治

目 次	
納涼会…………… 1	事務局レポート…………… 3
全日本プラスチック製品工業連合会 通常総会が開催されました…………… 2	プラスチックのマテリアルリサイクル…………… 6
	暑中広告…………… 7

## 納涼会 ～前理事をご招待して開催

令和6年7月18日（木）18時より日比谷パレスにて、恒例の納涼会が開催されました。5月の通常総会で退任された理事をお招きして感謝状・記念品の贈呈を行いました。

住田会長からのご挨拶の後、監事・理事を12期24年務められた古澤正弘様、理事を9期18年務められた内藤隆夫様に感謝状と記念品が贈呈されました。また、茨城県プラスチック振興会会長として活躍され、団体会員の長として理事を9期18年

務められた武田久徳様、専務理事を3.5期7年務められた八尋一恭様にも感謝状と記念品が贈呈されました。

記念品の贈呈終了後、原田副会長の乾杯の発声で納涼会が賑やかに始まりました。

前理事の皆様からのご挨拶もいただき、肥後副会長の中締めにより納涼会はお開きになりました。当日ご欠席でしたが、腰越 稔様(15期30年)、池下龍一郎様(3期6年)、渋谷修己様(2期4年)にも記念品をお送りいたしました。ご退任理事の皆様、長い間お疲れさまでした、ありがとうございました！



古澤様



内藤様



武田様



八尋様



納涼会の様子

## 全日本プラスチック製品工業連合会 通常総会が開催されました

令和6年6月6日（木）東京會館（東京都千代田区丸の内）において全日本プラスチック製品工業連合会の第63回通常総会が開催されました。

通常総会は、大野泰昭会長の開会挨拶で始まりました。



大野会長挨拶

「ただいまご紹介賜りました大野でございます。東日本・中部日本・西日本プラの会長様、理事様、及び専務理事様の方々には二年間本当にお世話になりました。心より御礼申し上げます。全日本プラ会長として、次の4項目を目標にさせていただきます。

きました。

一つ目は会員の増加です。残念ですが若干の減少で終わりました。

二つ目は、プラスチック業界も特定技能制度の対象に認可していただく件につきましては、技能検定推進委員会の兄玉委員長のご努力もあり、プラスチック製品製造業が特定技能制度の対象に認可して頂きました。しかしながら、今回は特定技能一号のみなので特定技能二号も入るように働きかけをお願いしたいと思っております。

三つ目は海外プラスチック製品製造業との交流です。特に欧州ドイツにアプローチをして情報交換会を行う件につきましては、日本金型工業会様やJETRO様に協力を頂き、メールでのアプローチをしましたが、現在までできておりません。

四つ目はプラスチック資源循環促進法ができ、今後は環境に配慮したモノづくりを目指していく必要がある件につきましては、まだ具体的な方向性が出ていませんので、引き続き課題として取り上げていただければ幸いです。

以上四つの目標の実現に向かって2年間全日本プラの会長として取り組んでまいりましたが結果は一勝二敗一引き分けに終わりました。全日本プラで皆様のご協力の元、今年3月に60周年記念式典を開催し、各方面に全日本プラをアピールできたことが良かったと思っております。

お話が変わりますが、東京エレクトロン河合社長の話が新聞に掲載されておりました。

1980年代後半に日本の半導体は世界首位だったが、その後に弱体化した。日本企業はなぜ力を失っ

たか、そして世界トップクラスに返り咲くには何が必要かの質問に対して、河合社長は「半導体は技術革新が速く市場変化が激しい。一昔前に半導体市場が大きく落ち込んだ時期、日本の総合電機メーカーは半導体分野への投資を削った。一方で海外企業はむしろ投資を強化した。投資には継続性が求められるが、これを一年でも止めてしまうとディスアドバンテージになる。その差が海外とりわけアジアの企業と比較して大きかったのではないか。技術進化に備えて常に競争力を維持しておかなければならない」と結んでおります。企業にとって毎年投資を継続していくことは、並大抵のことではありませんが、一年でも止めてしまうと負け組に入ってしまう厳しさを学びました。

最後になりますが、本日から西日本プラの原新会長様にバトンタッチいたしますが、全日本プラ益々のご隆盛お願いできればと考えております。原新会長様へ皆様方のご支援・ご協力を重ねて申し上げます。」

その後、以下の議事がなされました。

- |       |                       |
|-------|-----------------------|
| 第1号議案 | 令和5年度 事業報告（案）承認の件     |
| 第2号議案 | 令和5年度 決算報告（案）承認の件     |
| 第3号議案 | 令和5年度 収支差額処分方法（案）承認の件 |
| 第4号議案 | 令和6年度 事業計画（案）審議の件     |
| 第5号議案 | 令和6年度 収支予算（案）審議の件     |
| 第6号議案 | 役員改選の件                |

なお、令和6年度の当連合会運営方針として、「日本経済は、国内消費やインバウンド需要の増加などコロナ禍からの順調な景気回復を続ける一方で、世界ではウクライナ紛争に加え、イスラエルとハマスの戦闘が大きな懸念材料となっています。また、円安による物価高やエネルギー価格の高騰、構造的な人手不足等企業にとって厳しい状況も続いています。このような状況の中で、一昨年施行の『プラスチック資源循環促進法』に基づき、これまで以上にSDGsやカーボンニュートラルを十分に意識しながらものづくりに取り組む必要があります。

当連合会は会員間の意思疎通と情報交換を図

り、具体的な要望事項等を国並びに諸機関へ働きかけるとともに、傘下の会員企業の経営効率、技能・技術の向上及び人材育成等に有効に対応すべく、以下の事業を推進し、連合会の設立目的の実現に向けて努力してまいります。」との説明が行われました。

通常総会ですべての議案が承認されたのち、経済産業省素材産業課の岸田学課長補佐にご参加



講演する岸田補佐

いただき、講習会と意見交換会を実施しました。岸田課長補佐からは、懸案となっている特定技能資格にかかる進捗状況をはじめとした経済産業省の施策についてご説明いただきました。また、ご説明の後、意見交換を行いました。

その後の懇親会では、原直宏新会長からのご挨拶の後、ご来賓としてご参加いただいた経済産業省素材産業課の濱坂隆企画官にご祝辞をいただきました。

ご挨拶の後、児玉康彦副会長（中部日本協会会長）の発声で祝宴が開始されました。最後は住田嘉久副会長（東日本協会会長）の中締めで懇親会を終了しました。



原新会長挨拶



濱坂企画官ご祝辞

## 事務局レポート

### 1. 第412回 理事会議事録

1. 日時 令和6年7月18日（木）  
17時00分～17時45分

2. 場所 日比谷パレス  
東京都千代田区日比谷公園 1-6

電話03-5511-4122

### 3. 出席者

住田 嘉久	上村 俊彦	肥後 武展
山下慎一郎	原田 裕司	村口 公浩
秋野 勝彦	平塚 隆文	伊藤 宏使
曾我部 大	河合 清美	佐藤 昭
滝口 裕	福田 晴通	平田 照雅
大里 光男	笹岡 健治	

以上出席理事17名(理事総数31名)

野邊弘一郎 長島 勝敏

以上監事2名

矢後 史彦（オブザーバー）

### 4. 住田会長ご挨拶

本日はお忙しいところ第412回の理事会にお集まりいただき有難うございます。きょうの理事会終了後に納涼会がありますが、退任理事の方々も

ご参加くださいますので、よろしく願いいたします。

さて、国や経産省が進める製造業のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進に向けて、様々な施策を展開しています。そもそもDXって何？と今更ながら聞けない、という方もいるかもしれません。

NHKの「漫画家イエナガの複雑社会を超定義」という番組があり、私は大好きでよく見えています。そこでDXを定義していましたので、ご紹介します。

実はDXには大きく分けて3つの段階があります。

第1段階はデジタイゼーション 業務をアナログからデジタルに移行する事です。例えば成形品を鉛筆でスケッチしていたものを3DCADを使ってデータとして保存します。

第2段階はデジタルライゼーション 業務プロセスのデジタル化を意味します。技能士検定の成形品をファックスで受注販売していたものをECサイトを立ち上げ、そこから受注販売する等がこれに当たります。

第3段階はデジタルトランスフォーメーション デジタル技術を活用して、ビジネスモデル全体を変革する事です。集めた膨大な顧客データを基に売れる商品を開発したりすることです。

このようにDXと単なるデジタル化は大きく違

います。DXでビジネスモデルが大変革し、業績も回復した例があります。仕掛け人はAmazonの創業者ジェフ・ベゾスです。2013年、ベゾスの個人投資会社がワシントン・ポストを買収して大きなニュースになりました。「自分は新聞ビジネスについては素人であり、現場に任せる」と宣言し、記事の内容については一切、口出しをしませんでした。一方で紙媒体を主戦場にしてきた新聞に、デジタル技術を活用した新しいビジネスモデルを持ち込みました。

まずウェブサイトでの記事配信を強化するため、巨額の投資を行い、250人の技術者を新規に採用します。そしてアマゾンで培ったノウハウをつぎ込み、コンテンツ管理ツールを開発したのです。これが大当たりしました。他社にもライセンス販売したところ、1500ものウェブやアプリで採用され、100億円の売り上げを達成したのです。買収の前、ワシントン・ポストは54億円の赤字に陥っていましたが、こうした改革の結果、2016年には黒字に転じました。何がその企業の強みなのかを見極め、最大限に引き出す。これまでの常識にとらわれない大胆な変革で新たな価値を生み出したという点で、DXの成功事例と言えます。

日本では佐賀にある創業124年の老舗着物店「鈴花」。2023年、すぐれたDXに取り組む企業のコンテストで、大賞に輝きました。抱えていた課題は、長年培ってきたベテランの接客ノウハウをいかに継承し、新たなサービスにつなげるかです。たとえば勤続40年をこえる山口さんは、80代のいまも現役で、購買意欲をくすぐる接客で現場を支えています。山口さんが長年つけている手帳には、顧客の生年月日やどんな色が好みかなどの貴重な情報が満載でした。しかしもし辞めてしまえば、それっきりになる恐れもあります。このままでは積み上げた情報が失われ、顧客も離れてしまうと考えたDX推進室の有田さんは、顧客情報のデジタル化を決意します。多くのデータを集めてタブレットで共有すれば、接客サービスの底上げが可能になります。

問題点はデジタル化に対するベテランたちの苦手意識です。そこで「DX」という言葉を使わず、デジタル化によるメリットや会社としての目的を丁寧に説明しました。普段使っているスマホの延長にすぎないことを強調したそうです。

そして県の支援や補助金なども活用しながら、まず社内用のアプリを開発し、顧客カルテを共有しました。接客日時や内容、購入履歴などの情報を必要に応じて閲覧することで、どの販売員でも適切な接客ができるようになったのです。今後は集めたデータを分析し、新商品の開発にも活かしていく予定です。一見デジタルとは縁遠いように見える企業でも、アイデア次第でDXは可能にな

ります。

爆速で進化を続けるデジタル技術を活用してこれまでの常識を見直し、ビジネスや社会を大きく変えるDX。自らの理念に立ち返って強みを洗い出し、どんなサービスを、誰に届けるのか。正直悩ましいことも多いですが、アイデア次第で大きなチャンスがつかめる！と思うとワクワクしてきませんか？ という点に共感し、ご紹介しました。

最後になりますが本日も円滑な進行をお願いしまして、ご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 5. 専務理事より定数の報告

事務局より理事数31名のうち出席理事は17名であり、定款第33条の規程により過半数の理事の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

## 6. 議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

## 7. 議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と出席の野邊監事、長島監事に記名捺印をお願いし、了承された。

## 8. 議 事

### 議題1. 経過報告（前回理事会以降の主要行事）

#### (1) 役員会等の開催

5月16日	第56回通常総会	上野精養軒
5月16日	第410回、411回理事会	上野精養軒

#### (2) 部会・委員会の開催

##### ① 技能検定運営委員会

5月30日	前期技能検定首席・事務局会議	東京都職業能力開発協会
6月7日	水準調整会議	

6月15日	実技試験説明会	板橋校
6月15日	樹脂替え確認	板橋校
6月22日	金型トライ	板橋校

##### ② 能力開発推進委員会

6月22日, 23日	技能検定学科試験受検用対策講座	板橋校
------------	-----------------	-----

6月29, 30日	7月6, 7, 13, 14日	
	技能向上講座「射出成形樹脂替えと成形不良対策」	板橋校

##### ③ 製品技術部会

5月10日	通常総会	エッサム神田ホール1号館
-------	------	--------------

## ④青年経営研究会（JPO）

- 5月23日 JPO 役員会  
協会事務所・のどぐる中俣
- 6月21日 JPO 役員会  
協会事務所・韓国料理「縁」

## (3) 支部会等の開催

- 5月29日 長野県プラ工業会総会  
ホテル信濃路
- 6月18日 埼玉県プラ振興会総会 埼玉会館
- 7月1日 墨東支部会 東武レバントホテル
- (4) 全日本プラ連合会
- 5月23日 中部日本協会第53回総会  
名古屋東急ホテル
- 5月28日 西日本協会第56回総会  
シティプラザ大阪
- 5月15日 技能検定推進委員会情報交換会  
ANA クラウンプラザグランコート名古屋
- 6月8日 全日本プラ連合会第63回総会  
東京會館
- 6月9日 3地区協会親睦コンペ  
小金井カントリー倶楽部

以上議題1について諮ったところ特に異議なく了承された。

## 議題2. 会員の入会・退会承認の件

## (1) 入会の部

- 正会員 1社
- 会社名 三共化成株式会社  
所在地 東京都千代田区飯田橋二丁目6番6号  
代表者 森平昌人  
取扱製品 金型製作から射出成型品までを一貫生産

## 賛助会員 1社

- 会社名 株式会社パラダイムシフト  
所在地 東京都中央区東日本橋1-3-6  
代表者 百田 浩志  
業種 観光DX、電気契約見直しサポート

## (2) 退会の部

- 正会員 2社
- 会社名 (株)小松川プラスチック  
退会理由 廃業のため

- 会社名 日本電材工業(株)  
退会理由 会社都合

## 賛助会員 1社

- 会社名 旭化成(株)  
退会理由 会社都合

## (3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団体会員
前回	159社	66社	225社	7団体
増加	1社	1社	2社	0
減少	2社	1社	3社	0

現在 158社 66社 224社 7団体  
以上議題2について諮ったところ特に異議なく了承された。

## 議題3. 技能検定 プラスチック成形（ブロー成形作業）に係る支給材料製造のための金型改修等費用について

以上議題3について諮ったところ特に異議なく了承された。

## 議題4. 本日の納涼会の件

以下専務理事から説明を行った。

出席状況  
本日のスケジュールと役割分担

以上議題4について諮ったところ特に異議なく了承された。

## 【その他報告事項】

以下の項目につき専務理事から説明を行った。

## ①景況について

中小企業景況調査から

## ②外国人の適正な雇用について

入管庁作成のリーフレットについて

## ③職場における熱中症の発生状況等について

## ④今後の理事会等日程（案）について

## ⑤公正取引委員会資料

## ⑥「成長志向型の資源自律経済戦略の実現に向けた制度見直しに関する中間とりまとめ（案）」に対する意見公募について

以上その他報告事項について、異議なく了承された。

以上予定議案が終了し、議長は17時45分、閉会を宣した。

## 2. 第192回 APM 会ゴルフコンペ開催

令和6年7月10日（水）アスレチックガーデンゴルフ倶楽部にて14名が参加して開催されました。



## プラスチックのマテリアルリサイクル

プラスチックのサーキュラエコノミー（CE）推進にはリサイクルが重要な技術になる。成形工程の廃プラスチックや使用済プラスチックをマテリアルリサイクル材（以下リサイクル材という）として有効活用することでプラスチックの生産量抑制や廃棄量低減ができ、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）や環境汚染の低減につながる。しかし、リサイクルには次の課題がある。

- ①繰り返し熱履歴を受けることで、熱分解が徐々に進行して色相変化や強度低下が起きる。
- ②リサイクル過程で異物が混入すると、外観不良や応力集中による強度低下が起きる。
- ③成形材料に含まれる添加剤がリサイクルや使用過程で徐々に失われるため成形加工性や製品機能が低下する。
- ④ガラス繊維強化材料ではリサイクル過程で繊維が折損して短くなるので成形収縮率変動や強度低下が起きる。
- ⑤熔融粘度ばらつきがあるため成形条件が安定しない。

これらの課題を解決するためのリサイクル技術が開発されている。

リサイクルによる熱分解を修復するための改質剤が開発されている。(株)カネカのリサイクルPA用改質剤はポリマーの分子末端同士を結合させることで物性を修復する改質剤である<sup>1)</sup>。福岡大学の八尾教授は、リサイクル材の自己再生メカニズムを見出している<sup>2)</sup>。PPリサイクル材を用いて、加熱シリンダのスクリュ先端部に樹脂溜まりを設けて静的熔融状態に保持するとポリマー間の絡み合い数が増加し結晶相間のタイ分子が増加することで力学的特性を回復できるとしている。

成形工程ではリサイクル材に異物が混入しないように保管管理を行うことが重要である。一方、使用済みプラスチックの回収リサイクルでは完全に分離できない異物が混入しやすい。そのようなケースではリベレット用押出機とダイの間にスクリーンメッシュを取り付け異物を濾過・除去する方法がある。ただ、スクリーンメッシュの目開きを細かくすると、異物が目詰まりしやすいためメッシュ交換頻度が高くなり生産性が低下するので強度低下との兼ね合いから適切なメッシュ目開きに設定する必要がある。

酸化防止剤や光安定剤はリサイクルを繰り返すと含有率が低くなるため効果が徐々に失われる。含有率の低下分を追加添加することが行われている。また、(株)アデカはPPのリサイクルにおいて

リサイクル材の混合比率を高くしても物性低下しないアデカシクロエイドシリーズを開発している<sup>3)</sup>。「UPR-001」は熱安定性を、「UPR-011」は力学的特性と熱安定性を、それぞれ改善するためのパッケージ型添加剤である。

ガラス繊維強化成形品では、一般的に直径は10 $\mu$ m～13 $\mu$ m、長さが200 $\mu$ m～300 $\mu$ m程度の短繊維が分散している。しかし、リサイクルを繰り返すとスクリュ回転時のせん断力によって折損して繊維長が短くなるため、強度が低下し成形収縮率は大きくなる。通常のガラス繊維強化材料ではリサイクルによって短繊維化することは避けられないが、繊維径を細くすると折損しにくくなる。層状珪酸塩を用いたナノコンポジットやセルロースナノファイバー（CNF）強化材料の繊維径はナノサイズ（1/1000 $\mu$ mサイズ）であり繊維が折損しにくいためリサイクルを繰り返しても強度が低下しないことが報告されている<sup>4),5)</sup>。

リサイクル材は熔融粘度ばらつきが大きいので、通常はMFR（メルトマスフローレート）を測定し、測定値を参考にして成形条件を調整している。最近では、射出成形機を用いてオンラインで熔融粘度を計測し成形条件を調整することも可能になっている。東洋機械金属(株)はメルトコン（MeltCon）を開発している<sup>6)</sup>。基準熔融粘度値を設定しておき、リサイクル材を基準粘度値と同じになるように成形温度を自動調整する制御システムである。(株)ソディックは熔融粘度測定装置「Nendy-E」を開発している<sup>7)</sup>。射出成形機のノズル部に同装置を取り付けて熔融粘度の温度やせん断速度の依存性を測定し、測定データを基に成形条件を調整する。

リサイクル材は変色や異物混入の点で意匠性が要求される外観商品に使用するには制約がある。その対策として、加飾フィルムインサート成形、2材質成形、サンドイッチ成形などの成形法を用いて内部層にリサイクル材を用いる方法がとられている。（案山子）

### 引用文献

- 1) カネカ、人とするまのテクノロジー 2023 出展資料。
- 2) 八尾滋、プラスチックスエージ, June (2022), p.35～40。
- 3) 環境対応型添加剤「アデカシクロエイドシリーズ」, <https://www.adeca.co.jp/chemical/pickup15.html>。
- 4) 小山明信, 成形加工, 14 (4), p.217～221 (2002)。
- 5) 連康一、プラスチックスエージ、(株)プラスチックスエージ, Oct.2022, p.36～40。
- 6) 下楠園社、2024年3月19日第5回未来志向射出成形技術シンポジウム、特別講演2。
- 7) (株)ソディックプレスリリース資料 (2023年11月27日)



2023年4月1日、ムラテック販売は  
ムラテックフロンティアへ社名変更いたしました

# ムラテック販売 は ムラテックフロンティアへ

## はたらく・つくるの 明日をひらく

ひとは、はたらく。

ひとは、つくる。

いかにはたらし、いかにつくるか。  
どこまでも進化しつづけるその課題に、  
私たちは、現場に寄り添いながら  
答えを出していきます。

かつては革新的だった進化が  
今はオフィスや工場の常識になったように、  
はたらく・つくるの場は、  
ベストフィットするソリューションによって  
きっともっとよりよくできる。

次なる時代のはたらしかた、つくりかたへ。  
いつもそこにいるパートナーとして  
はたらく・つくるの未来を拓いていく。  
私たちは、ムラテックフロンティアです。

成形業の業務効率を最適化する  
ムラテックの生産管理システム

成形業統合生産管理システム

**GMICS<sup>®</sup>**

成形工場生産管理システム

**MICS7**

はたらく・つくるの明日をひらく  
**ムラテックフロンティア株式会社**  
<https://www.muratec.jp/fs/>

### ファクトリーソリューション営業部

- 東日本支店 / 埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802  
TEL 048(649)6139 FAX 048(647)9446
- 中部支店 / 愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502  
TEL 0568(63)2311 FAX 0568(63)5779
- 西日本支店 / 京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686  
TEL 075(672)8257 FAX 075(672)8390

令和六年

暑中お見舞い申し上げます



暑さ厳しい折柄  
皆様のご健勝を  
お祈り申し上げます

<p>旭モールディング株式会社</p> <p>代表取締役 福田晴通</p> <p>〒116-0012 東京都荒川区東尾久五-1-21-1 電話 〇三(五八五五)三五六〇</p>	<p>浅間合成株式会社</p> <p>代表取締役 嶋田修二</p> <p>本社工場 〒401-0301 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1 TEL (0555)73-2831 FAX (0555)73-2832 http://www.asama-gosei.jp/ P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp</p> <p>Intertek ISO9001:2015 認証取得</p>	<p>明日の情報システムを想像する ASCOT</p> <p>株式会社 アスコット</p> <p>代表取締役社長 吉村紳一</p> <p>本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F TEL (06)6944-9211 FAX (06)6944-3233 東京支店 〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル5F TEL (03)6870-2250 FAX (03)6870-2253</p>
<p>株式会社荒川樹脂</p> <p>代表取締役 小菅恵美子</p> <p>〒116-0012 東京都荒川区荒川五-1-39-1-2 電話 〇三(三八九二)五七二二(代)</p>	<p>株式会社イガフシコーカ</p> <p>代表取締役社長 秋野勝彦</p> <p>本社 〒216-0012 神奈川県川崎市宮前区南野川1-3-1 電話 〇四四(九二〇)八二三〇</p>	<p>株式会社 石黒製作所</p> <p>代表取締役社長 大野泰昭</p> <p>〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9 TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712 URL: http://www.pla-part.com/</p>
<p>石田プレス工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 安達公佐</p> <p>本社 〒164-0011 東京都中野区中央1-14-1 TEL 03-3362-6731 https://www.ishidapress.co.jp</p>	<p>エンゼル産業株式会社</p> <p>代表取締役社長 野邊弘一郎</p> <p>本社 〒132-0024 東京都江東区森下1-1-1 交通館之江ビル5F FAX 〇三(五八七九)三二七六四三 電話 〇三(五八七九)三二七六四三</p>	<p>Enplas 株式会社エンプラス</p> <p>代表取締役社長 横田大輔</p> <p>〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号 電話 048 (253) 3 1 3 1 (代) https://www.enplas.co.jp</p>



<p>OSK</p> <p>代表取締役社長 <b>原田裕司</b></p> <p>大塚産業株式会社</p> <p>〒130-0005 東京都墨田区東駒形一丁目八番一 電話 (03) (366) 5651 (代) FAX (03) (366) 3116</p>	<p>かみむら化学株式会社 KAMIMURA CHEMICAL Co., Ltd.</p> <p>代表取締役社長 <b>上村俊彦</b></p> <p>URL: <a href="http://kamimura-kagaku.com">http://kamimura-kagaku.com</a> 〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2 Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315 本社工場 〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1 Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009</p>	<p>KAWATA</p> <p>先進技術とトータルシステムで貢献</p> <p>株式会社 <b>カワタ</b></p> <p>代表取締役社長 <b>白石 互</b></p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川1-2-10 新川むさしやビル4階 TEL 03-3523-5680 FAX 03-3523-5682</p>
<p>離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売</p> <p>KOBEGOSEI</p> <p>神戸合成株式会社</p> <p>代表取締役社長 <b>宮岡 督修</b></p> <p>本社: 兵庫県小野市匠台10番地 TEL: (0794) 64-7771(代) FAX: (0794) 64-7772 URL: <a href="http://www.kobe-gosei.co.jp">http://www.kobe-gosei.co.jp</a></p> <p><b>BIG FORCE</b></p>	<p>株式会社 <b>S6</b> サトーボーサー</p> <p>昭太 佐藤 亮 代表取締役</p> <p>本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町1-17-1 Tel: 03-3955-4066 Fax: 03-3959-5481 東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷70-1 鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田1-10-51</p>	<p>SK</p> <p>株式会社 三光社</p> <p>代表取締役社長 <b>平塚 隆文</b></p> <p>本社 〒110-0022 東京都台東区柳橋二丁目九番一 電話 (03) (286) 3548 (代) FAX (03) (286) 3579</p>
<p>三省物産株式会社</p> <p>代表取締役社長 <b>高階 達也</b></p> <p>〒100-8339 東京都中央区日本橋一丁目三番二 電話 (03) (327) 0572 (代)</p>	<p>Shibaura Machine</p> <p>芝浦機械株式会社</p> <p>代表取締役社長 社長執行役員 最高経営責任者 最高執行責任者 <b>坂元 繁友</b></p> <p>〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル4F TEL: 03-3509-0200 FAX: 03-3509-0333</p>	<p>Joto LYPRONE</p> <p>城東リプロン株式会社</p> <p>代表取締役社長 <b>横江 政洋</b></p> <p>本社 〒104-0045 東京都中央区築地6丁目19番20号 二チレイ東銀座ビル9F TEL 03-6281-5936(代) FAX 03-6281-5937 <a href="http://www.lyprone.com">http://www.lyprone.com</a></p>
<p>ISO 9001登録企業 押出成形</p> <p>SKK 白石工業株式会社</p> <p>代表取締役社長 <b>白石 創士</b></p> <p>〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8 電話 (03) 3683-3301 (代) FAX (03) 3683-3305 <a href="http://www.shiraishi-kk.co.jp">http://www.shiraishi-kk.co.jp</a></p>	<p>Plastic Performance</p> <p>株式会社 <b>新興化学</b></p> <p>代表取締役社長 <b>小野寺 誠</b></p> <p>〒143-0012 東京都大田区大森東2-34-10 電話 03-3761-2078</p>	<p>shinjo</p> <p>株式会社 新上</p> <p>取締役会長 代表取締役 <b>曾我部 大上</b></p> <p>〒277-0811 千葉県柏市正連寺三丁目二番八 電話 (04) (71) 3331 (代) FAX (04) (71) 3331</p>

令和六年

暑中お見舞い申し上げます



令和六年

暑中お見舞い申し上げます



<p><b>STAR</b> Quality First</p> <p><b>株式会社スター精機</b></p> <p>代表取締役社長 <b>塩谷陽一</b></p> <p>〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 電話 0587-95-7551 <a href="http://www.starseiki.com">http://www.starseiki.com</a></p>	<p>電話 043-822-0443</p> <p>〒224-8522 神奈川県相模原市緑区橋本六1-5110 中屋第2ビル2F 八九一</p> <p><b>生倉茂</b></p> <p>代表取締役</p> <p><b>セーチヨー工業株式会社</b></p>	<p><b>Sodick</b></p> <p><b>株式会社ソディック</b></p> <p>代表取締役社長 <b>古川健一</b></p> <p>〒224-8522 横浜市都筑区仲町台 3-12-1 TEL : 045-942-3111 (大代) URL : <a href="http://www.sodick.co.jp">www.sodick.co.jp</a></p>
<p><b>2色成形の</b> <b>株式会社ダイテック</b></p> <p>代表取締役 <b>伊藤 創</b></p> <p>〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角洲5206-3 TEL 0270-64-1819 FAX 0270-64-2014 E-mail <a href="mailto:h-ito@p-daitec.co.jp">h-ito@p-daitec.co.jp</a> HP <a href="http://www.p-daitec.co.jp">http://www.p-daitec.co.jp</a></p>	<p>電話 03-374-0083</p> <p>〒134-0083 東京都江戸川区中葛西7-1-261-1 二七三一</p> <p><b>袁輪透</b></p> <p>代表取締役</p> <p><b>拓水工業株式会社</b></p>	<p><b>CHIBA</b> 業務用調理機器</p> <p><b>株式会社 千葉工業所</b></p> <p>代表取締役 <b>長島光敏</b></p> <p>〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14 ☎047-438-3411代 FAX047-438-3413 e-mail:<a href="mailto:peels@chiba-ind.co.jp">peels@chiba-ind.co.jp</a> URL:<a href="http://www.chiba-ind.co.jp">http://www.chiba-ind.co.jp</a></p>
<p><b>TENSHO</b></p> <p>プラスチックの総合メーカー <b>天昇電気工業株式会社</b></p> <p>取締役会長 <b>石川忠彦</b></p> <p>〒194-0005 東京都町田市南町田5-3-65 天幸ビル17 TEL 042(788)1555 FAX 042(796) 6333 <a href="https://www.tensho-plastic.co.jp">https://www.tensho-plastic.co.jp</a></p>	<p>FAX 03-390-0936</p> <p>電話 03-390-0936</p> <p>〒390-0936 長野市大字中御所字岡田1-3-11-10 長野県中小企業会館三階 六一一五六一</p> <p><b>内山三男</b></p> <p>会長</p> <p><b>長野県プラスチック工業会</b></p>	<p><b>日鋼YPK商事株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>堤 洋一郎</b></p> <p>〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎ウエストタワー 10階 電話 03(5745)2131 URL <a href="https://jsw-nyc.jp">https://jsw-nyc.jp</a></p>
<p><b>Nissin</b></p> <p><b>株式会社日新化成</b></p> <p>代表取締役 <b>早川 聖人</b></p> <p>〒331-0046 埼玉県さいたま市西区宮前町821番地 TEL 048-624-8450</p>	<p>役に立つ会社</p> <p><b>NIPPLA</b></p> <p>創立 1934年 (昭和9年)</p> <p><b>日本プラスチック工業株式会社</b></p> <p>代表取締役社長 <b>浅見好邦</b></p> <p>本社 東京都荒川区荒川4丁目53番2号 〒116-0002 電話 03(3807)8651番(代表) <a href="http://www.nippla-web.co.jp">http://www.nippla-web.co.jp</a></p>	<p><b>NIPPO YUKI</b> 株式会社 <b>日本油機</b></p> <p>代表取締役社長 <b>市川博章</b></p> <p>〒252-0203 神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2 TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683 <a href="mailto:info@nihon-yuki.co.jp">info@nihon-yuki.co.jp</a> <a href="http://www.nihon-yuki.co.jp">http://www.nihon-yuki.co.jp</a></p>

<p>電話 〒395 長野県上伊那郡南箕輪村四二二四一 〇二六五(七二)〇一一一</p> <p><b>HARMO</b> 株式会社 <b>ハーモ</b> 代表取締役社長 <b>濱 秀明</b></p>	<p>電話 〒900 福島県福島市蓬萊町一一一一</p> <p>福島県プラスチック工業会 会長 <b>佐藤 正幸</b></p>	<p>電話 〒300 茨城県稲敷市幸田六七七 〇二九九(七九)一三二四</p> <p>代表取締役 <b>池下 龍一郎</b> <b>不二プラスチック株式会社</b></p>
<p><b>古川化学工業株式会社</b> 代表取締役社長 <b>古川 雅一</b> 〒130-0024 東京都墨田区菊川二丁目十四番二号 電話 03 (3631) 6 6 5 5 番 03 (3634) 3551~3 番 F A X 03 (3634) 3 5 5 4 番</p>	<p>電話 〒950 東大阪市高井田本通り二二三十一 〇六(六七八二)一八二一</p> <p>代表取締役 <b>鈴木 雅之</b> <b>株式会社 ホーライ</b></p>	<p><b>MATSUI</b> 株式会社 <b>松井製作所</b> 代表取締役 <b>松井 宏信</b> 〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勤業ビル9階 tel:03-5436-3521 fax:03-3495-5331 URL http://matsui.net</p>
<p><b>株式会社村上開明堂化成</b> 代表取締役社長 <b>石垣 昌之</b> 〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル南館 3 階 TEL 03-6273-4120</p>	<p><b>muratec</b> 取締役営業本部長 <b>花田 元生</b> ムラテックフロンティア株式会社 本社 〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136 電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307 東日本支店 〒330-0802 埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1 電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123</p>	<p>プラスチック成形用金型設計・製作 <b>明輝の金型</b> 株式会社 <b>明輝</b> 代表取締役社長 <b>黒柳 貴宏</b> 〒243-0807 神奈川県厚木市金田800 厚木工場 TEL 046-224-2251 〒243-0807 神奈川県厚木市金田1030 神奈川工場 TEL 046-224-1711 〒021-0922 岩手県一関市東台14-67 一関工場 TEL 0191-26-0775 海外工場 マレーシア・メキシコ・ タイ・アメリカ</p>
<p><b>山下電気株式会社</b> 代表取締役社長 <b>山下 慎一郎</b> 〒140-0004 東京都品川区南品川3-6-33 TEL (03) 3740-2401 URL:https://www.yamashita-denki.co.jp</p>	<p><b>PLASTICS WORLD YAMASO</b> <b>増田 英輔</b> 代表取締役社長 <b>山宗株式会社 関東事業部</b> 東京都千代田区内神田2-15-2 内神田DNKビル6F 〒101-0047 TEL.03-5297-7987 FAX.03-5297-7979 http://www.yamaso.co.jp/</p>	<p><b>YUSHIN</b> <b>株式会社ユーシン精機</b> 代表取締役社長 <b>小谷 高代</b> ■本社 〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地 電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033 □東日本統括営業所 〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11 電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927</p>

令和六年

暑中お見舞い申し上げます



令和六年

暑中お見舞い申し上げます



 <p><b>株式会社リーデンス</b></p> <p>代表取締役社長 <b>肥後 武展</b></p> <p>本社 埼玉県入間郡三芳町大字北永井722 〒354-0044 電話 049 (259) 1161(代)</p>	<p>老後の安定した生活のために</p> <p><b>トープラ企業年金基金</b></p> <p>理事長 時田 周明 常務理事 江藤 清隆</p> <p>〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-5-13 東京ニットファッション健保会館2階 TEL 03-5809-1581</p>	<p>東プラ健保は加入員の健康づくりを推進しています。</p> <p> <b>東日本プラスチック健康保険組合</b></p> <p>理事長 小林 達夫 専務理事 佐藤 栄一 常務理事 森 秀樹</p> <p>〒111-0052 東京都台東区柳橋1-1-4 電話 03-3862-1051(代)</p>
<p><b>東日本プラスチック製品工業協同組合</b></p> <p>～今後とも、会員企業のお役に立つよう 下記の事業に積極的に取り組んでまいります～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各種ユニフォーム・事務服等</li> <li>○ETC カード事業</li> <li>○PL 保険、団体生命保険</li> <li>○タオル斡旋、保存食、精米機他</li> </ul> <p>上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。</p> <p>東日本プラスチック製品工業協同組合 代表理事 嶋田 修二 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324</p>	<p><b>全日本プラスチック製品工業連合会</b></p> <p>会長 原 直 宏 副会長 住 田 嘉 久 副会長 児 玉 康 彦 副会長 岩 崎 能 久 専務理事 笹 岡 健 治</p> <p>〒104-0045 東京都中央区築地3-12-5 (築地小山ビル1F) 電話 03-3541-4321 Fax 03-3541-4324 URL <a href="http://www.jpplf.gr.jp">http://www.jpplf.gr.jp</a></p>	